

留萌中学校

【部活動】

	部員数	顧問数
野球部	10	2
サッカー部	20	3
男子バスケット部	21	2
女子バスケット部	14	2
女子バレー部	18	2
男子卓球部	8	2
女子卓球部	23	2
陸上部	26	2
テニス部	31	3
吹奏楽部	22	3
計	193	23

【少年団等】

※令和4年6月1日時点

	部員数
剣道部	1
柔道部	2
スキー部	8
計	11

部活動加入率≒77%

(全生徒数:265人 部活動部員数:204人)

港南中学校

【部活動】

	部員数	顧問数
野球部	12	2
サッカー部	15	2
男子バスケット部	17	3
女子バレー部	9	3
卓球部	19	3
吹奏楽部	24	3
美術部	8	1
計	104	17

【少年団等】

※令和4年6月1日時点

	部員数
女子ソフトテニス部	6
女子バスケット部	9
クロスカントリー部	2
アルペンスキー部	1
柔道部	2
剣道部	1
計	21

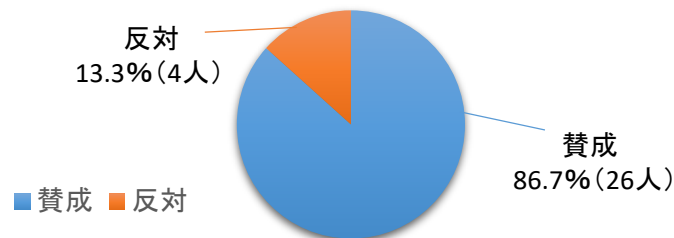
部活動加入率≒94%

(全生徒数:133人 部活動部員数:125人)

学校部活動に関するアンケートの主な意見(運動部)

顧問(教職員)

部活動の民間への地域移行について



【賛成の主な理由】(複数回答可)

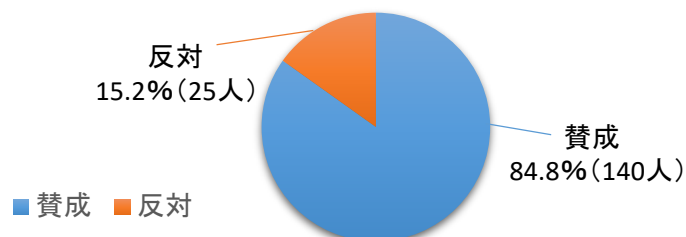
- ・教員の負担が大きい (24人)
- ・平日の部活動でも地域移行が望ましい (13人)
- ・専門外の顧問指導より専門家の指導が良い (12人)
- ・学校部活動指導から地域スポーツ指導に視点を变えていくべき (12人) 等

【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域人材や民間団体などとの連携に不安を感じる・イメージがわからない (4人)
- ・指導者の人間性・指導力・環境(場所)に不安、疑問を感じる (2人)
- ・生徒の安全管理や生徒指導上の課題に不安を感じる (2人) 等

保護者

部活動の民間への地域移行について



【賛成の主な理由】(複数回答可)

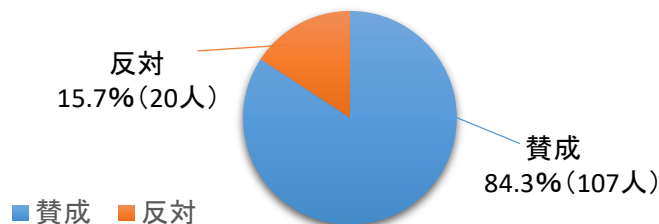
- ・子どもの数が減少し学校単位で活動していくのが困難である (93人)
- ・教職員の負担が大きいため (73人)
- ・専門外の顧問が指導するなら専門家が指導したほうが良い (46人)
- ・部活動指導からスポーツ指導に観点を变えていくべき (15人) 等

【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域や民間との連携が不安 (15人)
- ・安全管理や生徒指導上の課題に不安 (15人)
- ・チーム(学校単位)の活動ができなくなる (11人) 等

生徒

部活動の民間への地域移行について



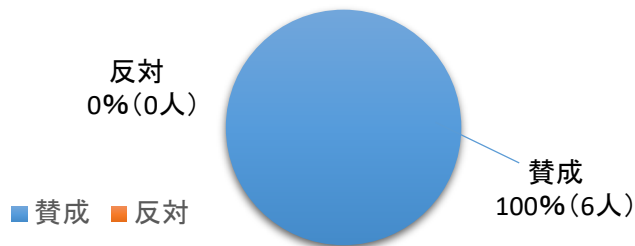
【指導を顧問の先生以外が行うことについて】

- ・指導力があれば先生、民間指導者どちらでもいい (42人)
- ・顧問の先生だけで良い (20人)
- ・指導してくれれば誰でも良い (20人)
- ・顧問の先生と民間指導者両方が良い (19人)
- ・先生が忙しいなら民間指導者でもいい (16人)
- ・民間の指導者が良い (9人)

学校部活動に関するアンケートの主な意見(文化部)

顧問(教職員)

部活動の民間への地域移行について

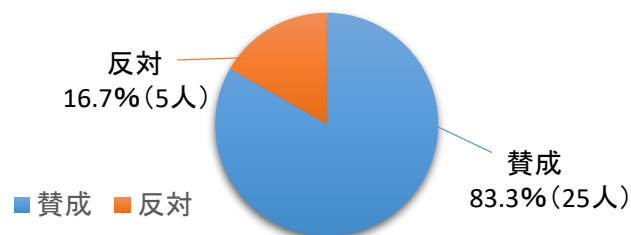


【賛成の主な理由】(複数回答可)

- ・教員の負担が大きい (6人)
- ・平日の部活動でも地域移行が望ましい (3人)
- ・専門外の顧問指導より専門家の指導が良い (3人)
- ・学校部活動指導から地域スポーツ指導に視点を変えていくべき(1人) 等

保護者

部活動の民間への地域移行について



【賛成の主な理由】(複数回答可)

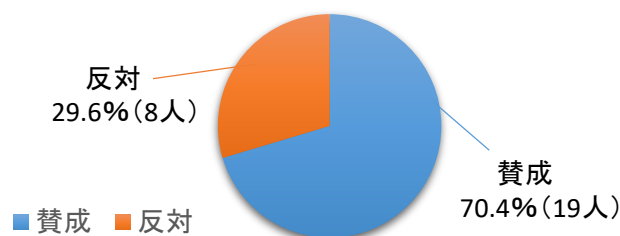
- ・教職員の負担が大きいため (16人)
- ・専門外の顧問が指導するなら専門家が指導したほうが良い (13人)
- ・子どもの数が減少し学校単位で活動していくのが困難である (6人)

【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域や民間との連携が不安 (4人)
- ・民間指導者の人間性・指導力など不安 (3人)
- ・安全管理や生徒指導上の課題に不安 (3人) 等

生徒

部活動の民間への地域移行について



【指導を顧問の先生以外が行うことについて】

- ・指導力があれば先生、民間指導者どちらでもいい (8人)
- ・顧問の先生だけで良い (8人)
- ・顧問の先生と民間指導者両方が良い (5人)
- ・指導してくれれば誰でも良い (3人)
- ・先生が忙しいなら民間指導者でもいい (2人)
- ・民間の指導者が良い (1人)

民間への移行について

◆20人中19人が「賛成」と回答

【主な意見】

- ・若い先生のことを考えると可能であれば、完全移行を望む
- ・大会などの負担も大きく、まずは土日だけの移行でも助かる
- ・「早く全部移行して欲しい」が本音。休日よりも平日の移行を先行して欲しい
- ・部活動の全てを地域へ移行するのは不安が残る。移行後も生徒指導で連携していきたい

地域移行手段について

◆20人中17名が「一気に移行」と回答

【主な意見】

- ・移行するなら一気に移行して欲しい
(生徒、顧問、民間馴染ませてからの意見を否定)
- ・土日のみの移行なら平日と指導に差が出る(そのため一気に)
- ・民間移行については段階的で良い

部活動のクラブ化について

◆20人中17名が「賛成」と回答

【主な意見】

- ・クラブ化は賛成だが、当校生徒はレベル低いのでレギュラーになるのは難しい。
- ・少子化が進んでいくなか、やむを得ない
- ・中体連に参加できるのであれば賛成
- ・団体種目のクラブ化については反対
- ・民間クラブだと開始時刻が遅くなるため不安が残る

生徒指導について

◆20人中18名が「部活以外で対応可能」と回答

【主な意見】

- ・部活以外でも生徒指導は対応できる
- ・生徒指導は心配ない。心配しては何も進まない
- ・生徒指導は学校で対応できる
- ・地域移行により、指導方針が変わるため、民間にやっていただきたい
- ・部活は人間教育、生徒指導の側面もある

その他の意見

- ・指導者には報酬を支払うことが大事
- ・顧問と民間の混合に指導方式はやめて欲しい
- ・遠征費の負担増が心配
- ・民間指導者と保護者のコミュニケーションが心配
- ・民間移行反対の保護者に対する十分な説明が必要
- ・勝利至上主義については、そのプロセスが大事
- ・学校の部活の現状を知らない人が多い 等

部活動の地域移行に係る課題等について

2022.10 教育委員会教育政策課

部活動の地域移行に関する意見交換会(R4.5.24開催)であげられた主な課題

①指導者の確保

- ・ 指導する生徒の発達段階に見合った技術力や指導力を有する外部人材の確保
- ・ 一定の質（資格、資質）を有する人材の確保 等

②平日部活動との連携

- ・ 主に学校部活動として行われる平日部活動と休日の部活動（地域部活動として）の指導の一貫性をどう保つのか
- ・ 異なる指導者間の連携・協力をいかに行うか 等

③施設の確保

- ・ 学校施設の利用のニーズは高く、休日部活動についてしっかりとした位置付けが無い場合、受け皿となる地域団体の学校施設の優先利用について調整が必要 等

④保護者負担

- ・ 部活動の地域移行に伴い発生する新たな保護者負担（指導者への謝金、施設使用料、保険料等）についての取扱い
- ・ 平日部活動との関係、休日部活動に移行した部のみが保護者負担の対象となること
- ・ 経済的に困窮する生徒への支援 等

⑤受け皿の整備

- ・ 休日部活動の受け皿となる地域団体が不足しており、スポーツ少年団やスポーツクラブの団体数にも限界があり、地域スポーツ団体自体も指導者確保が困難な状況にあること 等

⑥事故発生時の責任

- ・ 外部に委託した場合、怪我等の事故発生時やそこで発生する「いじめ」等のトラブルについての管理監督責任は誰が負うのか。どのように扱うのか 等

⑦大会への参加

- ・ 現在、教員が大会の引率や監督に従事しているので、教員が体育連盟や競技団体の一員として大会運営にも従事し、生徒の成果発表の機会が維持されているが、休日部活動に教員が従事しなくなれば大会の運営自体が困難となる 等

⑧その他

- ・ 「スポーツ安全保険」へ加入の際、学校管理下でのスポーツ振興センター「災害共済給付金制度」との加入額や補償額の差異について、補償内容や保険料について、同じ学校敷地内を利用する中学生の活動に対し、種目により差が生じることに保護者の理解は得られないのではないか 等